

レジメン名称(ビダーザ(皮下または点滴)+ベネクレクスタ q4w) 急性骨髄性白血病

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日 1 コース 4 週間 Day 1.....8.....29
ビダーザ	75 mg/m ²	↓↓↓↓↓↓↓ ※day1~7 投与
ベネクレクスタ	1 コース目 Day1 のみ 100mg/body 1 コース目 Day2 のみ 200mg/body Day3~400mg/body	1 日 1 回 食後 毎日

※土日を含む場合、休日明けにずらして投与

注意事項

原則として皮下投与を行うこと。出血傾向等により皮下投与が困難な場合は、点滴静注を行うこと。

ビダーザの希釈後の安定性より、調製終了後 60 分以内に投与終了すること。
そのため投与開始時間について、薬剤部、投与担当部署の間で時間調整して下さい。

ベネクレクスタ

中程度以上の CYP3A 阻害剤と併用する場合には、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため、以下の基準を参考に、本剤の投与を検討すること。

併用薬剤	用量漸増期	維持投与期
中程度の CYP3A 阻害剤	本剤を半量以下に減量すること	
強い CYP3A 阻害剤	本剤を 1 日目は 10 mg, 2 日目は 20 mg, 3 日目以降は 50 mg に減量すること	本剤を 50 mg に減量すること

腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるため、以下の点に注意すること。

- 白血球数が $2.5 \times 10^3 / \mu\text{L}$ 未満となるよう、本剤開始前に調整を行うこと。
- 本剤投与開始前に血液検査 (カリウム, カルシウム, リン, 尿酸, クレアチニン) を行い、電解質異常のある場合は本剤投与開始に先立ち補正を行うこと。
- 本剤投与開始前から、高尿酸血症治療剤の投与を行うこと。
- 本剤による治療開始前から用量漸増期を通じて $1.5 \sim 2 \text{ L} / \text{日}$ を摂取すること。

CYP3A 阻害剤の強度

表 54 CYP3A 阻害剤の強度別一覧

強い阻害剤 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 5 倍以上上昇 (C ₁₂ F が 1/5 未満に減少)	中程度の阻害剤 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 2 倍以上 5 倍未満に上昇 (C ₁₂ F が 1/2 未満 1/5 以上に減少)	弱い阻害剤 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 1.25 倍以上 2 倍未満に上昇 (C ₁₂ F が 1/1.25 未満 1/2 以上に減少)
コビシスタット インジナビル【販売中止】 イトラコナゾール ケトコナゾール【経口剤は本邦未発売】 ポサコナゾール【経口懸濁剤は本邦未承認】 リトナビル テラプレビル【販売中止】 ボリコナゾール (conivaptan) (troleanandomycin) クラリスロマイシン グレープフルーツジュース ネルフィナビル【販売中止】 サキナビル【販売中止】 (boceprevir) (nefazodone) エントレルビル ロナファルニブ	アンブレナビル【販売中止】 アプレピタント アタザナビル【販売中止】 シプロフロキサシン クリゾチニブ シクロスボリン ジルチアゼム エリスロマイシン フルコナゾール ホスアンブレナビル イマチニブ イストラデフィリン ミコナゾール トフィンパム ペラパミル イサブコナゾール (casopitant) (almorexant)	クロルソキサゾン【販売中止】 シモスタゾール シメチジン フルボキサミン ホスアプレピタントメグルミン ラニチジン【販売中止】 タクロリムス クロトリマゾール ロミタピド チカグレロル ルラシドン (ivacaftor) (ranolazine) (tabimorelin)

英字表記の薬剤は本邦未承認 (2025年1月15日現在)

(次ページあり)

皮下投与の場合：1～7日目	
1	ナゼア 1錠 内服
2	ナゼア内服 30分後に ビダーザ _____mg, 注射用水適量 注射用水で溶解：1Vあたり 4mLで懸濁（25mg/mL） 投与直前に注射用シリンジ内の懸濁液を、両掌に挟んで激しく転がすなどの方法で再度均一に懸濁させること 投与量に応じて、複数箇所に分けて投与すること（4mLを越えるときは2本にわけて調整（臨床試験では4mLを越える場合には分割している））

点滴静注の場合：1～7日目	
1	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
2	グラニセトロン（3mg/100mL）1V 30分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
3	ビダーザ _____mg, 注射用水適量、生食 50mL 10分で、ケモセーフロックのルートより投与 注射用水で溶解：1Vあたり 10mLで溶解（10mg/mL）
4	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄

出水総合医療センター レジメン管理委員会